

# 中国都市部の社区居民委員会の現状 —現地調査の3つの事例を踏まえて—

キーワード：中国都市部社区，居民委員会，現地調査，事例

日本福祉大学 COE 研究員  
大学院社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程

羅 佳

1950年代以来確立してきた住民組織である居民委員会は、政府と社区住民のパイプ役を果たしてきて、今後の社区福祉体系の構築にも重要な組織として存在すると考えられる。これからの居民委員会の展開方向を明確するため、その現状と課題を把握する必要がある。

本稿では、先行研究と居民委員会に関する公式文書、および公式統計データに基づき、まず中国都市部社区の居民委員会の形成を整理し、つぎに、その責務・財源、および居民委員会の管轄地域の人口規模と居民委員会の委員人数等を検討した。その上で、中国都市部の社区に対する現地調査の3つの社区（南京市G社区・北京市B社区・蘇州市C社区）を訪問し、居民委員会で入手した資料をまとめ、現段階の都市部社区居民委員会の現状をまとめた。

- ① 3つの社区では居民委員会の委員構成はそれぞれ異なっていた。
- ② 居民委員会委員は共産党支部の業務を同時に担うことがある。
- ③ 居民委員会は住民リーダーを通じて社区住民とつながっている。
- ④ 居民委員会の業務の複雑さが示された。